



# 日本スポーツ協会総合型地域スポーツクラブ全国協議会 令和7年度 第5回 常任幹事会レポート



去る令和8年1月22日（木）に開催された標記会議内容についてお知らせします。

## 議題 1. 令和8年度総合型地域スポーツクラブ育成計画・予算（案）について

事務局から、令和8年度総合型地域スポーツクラブ育成計画・予算について説明し、協議の結果、原案のとおり承認された。なお、本議題は、SC全国ネットワーク総会および総合型地域スポーツクラブ育成委員会、日本スポーツ協会理事会にて諮る予定としている。

<意見>

○決算について記載がないが、今年度の執行残について記載しないのか。

### 【事務局】

決算はJSPO全体で行っており、現時点で執行残を記載することは難しい。

## 議題 2. 総合型地域スポーツクラブ育成プラン 2023-2027 の進捗状況及び令和8年度の取組について

事務局から、総合型地域スポーツクラブ育成プラン 2023-2027 の進捗状況及び令和8年度の取組について説明し、協議の結果、原案のとおり承認された。

<意見>

○人材育成について、クラブマネージャー資格はクラブ内のマネジメントを主な内容としているが、部活動の地域展開が進む中、地域でのコーディネーターとしての役割に関する視点が十分に含まれていない点が課題である。そのため、今後は指導者資格の養成とクラブ育成の連携強化が必要である。

### 議題 3. クォータ制の導入に向けた総合型地域スポーツクラブ全国協議会諸規程の改定方針について

事務局から、SC 全国ネットワーク代表委員へのクォータ制の導入に向けた今後の方針および規程の改定方針について説明し、協議の結果、原案のとおり承認された。

<意見>

- 代表委員の選出について、女性 2 名の選出を認める場合、男性 2 名も認めることになるのではないか。男女のバランスを図ることが目的であることとの整合性について検討が必要ではないか。
- 代表委員に女性が圧倒的に少ないという現状を全体の共通認識とするのであれば、是正措置として一時的に女性 2 名を可とすることについての説明ができるのではないか。
- 「女性を必ず 1 名以上選出する」との書き方とするのはどうか。そうすることで、女性が 1 名でも 2 名でも可能となるのではないか。また、原案の文言に「原則として」と記載されているが、例外がどのようなものであるかを明らかにすることが必要であると考え。
- 基本規程については「男女 1 名ずつ」とするのが望ましいと考える。そもそも LGBTQ+ の考え方として、多様な人材の意見を取り入れることを目的としており、その目的を達成する第一歩として、クォータ制の導入によって生物学的な男女を同数とすることを目指すという本来の意図を忘れてはならない。
- 原案の場合は、男性 2 名、女性 2 名のいずれも例外を認める方が良いのではないか。

#### 【事務局】

今回の取組としては、男性 2 名を選出することは趣旨から外れると考えている。そのため、男女 1 名ずつ、または女性 2 名が選出できない場合には、男性は 2 名ではなく 1 名の選出とするのが適切であると考えている。

- 男女間格差をなくすための施策として、当初はクォータ制の導入に向けた取組を実施しようとしていたが、検討を進めている間に、男女だけでなく多様性を認める時代の流れに変化した。その多様性を認める第一歩として、まずは性別上の男女のバランスを整えるために、代表委員の女性比率を上げていくことは受け入れられるべきである。一方で、検証期間が 4 期 8 年は長すぎるのではないか。1 期ごとに検証するサイクルとした方が適切ではないか。

#### 【事務局】

都道府県担当者との意見交換の際、女性の代表委員を増やすためには、まず都道府県において登用を進めることから始める必要があるとの声があった。そのため、前半の 2 期 4 年で 47 都道府県の代表委員を男女 1 名ずつ選出し、後半の 2 期 4 年で導入後の効果を測定するという流れが望ましいとの意見が出た。しかし、4 期 8 年は長期間となるため、検討したい。

- 期間については目標として定めることは必要であるが、検証は 1 期ごとに継続して実施してはどうか。

**【事務局】**

検証については、2つの軸があると考えている。クオータ制の導入はあくまで手段であり、目的ではない。1つ目の軸としては、総会における議論や出席者の心理的变化を通じて検証することが可能であるとする。2つ目の軸としては、都道府県の協議会内の変化を検証対象とするものであり、この2つの軸に基づき検証を進めていきたいと考える。

○全国各地の様々な意見を聞いたうえで、現行の「男女共同参画部会」という部会名称は時代に合わなくなっていることが確認できた。また、代表委員が女性2名となる可能性をもった都道府県があることが明確になった。そのため今回の主旨からも女性2名を認めてよいと考える。今日の意見も踏まえて、総会においても原案通り提案したい。

**議題 4. ブロック別クラブネットワークアクションについて**

**（1）2025 年度総括**

事務局から、ブロック別ネットワークアクションの参加者を対象に行った事後アンケートの結果について報告し、これを了承した。

<意見>

なし

**（2）2026 年度共通プログラムテーマについて**

事務局から、2026 年度の共通プログラムのテーマについて説明し、協議の結果、次回の常任幹事会での継続協議とした。

<意見>

○部活動の地域展開に関することを取り上げてほしいという意見はなかったのか。

**【事務局】**

多くの回答はないがいくつか要望は寄せられた。毎年行っているスポーツ庁からの情報提供において「部活動の地域展開」が取り扱われていることもあり、新たに取り上げてほしいとする意見は少なかったのではないかと考える。

○全国の活動の様子をうかがうと、各都道府県や市区町村において部活動の地域展開に関する説明会等が実施されている印象がある。そのため、ネットワークアクションは、別のテーマを聞きたいと考える方も多いのではないかと考える。

○「総合型クラブとは何か」を改めて考える機会を設けても良いのではないかと考える。自県においては、総合型クラブが多数存在するが、自クラブの活動で精一杯になっているクラブの数が多い。そのため、理想とする総合型クラブ像を示し、その像を目指すために必要な内容として、共通プログラムのテーマを示す方が生産的ではないかと考える。

○総合型クラブの創設から30年が経過し、当時のスポーツ振興基本計画に記載されていた内容を忘れていた人も増えていると考える。「総合型クラブとは何か」という内容について定期的に考えることができる機会を設け、そのうえで現在の地域課題等とも向き合っていく必要があると考える。

○共通プログラムにおいては、将来に向けてメッセージ性のある内容とする方が望ましい。各ブロックの状況とテーマとの間に齟齬が生じる場合もあると思われるが、全国的にクラブとして今後どのようにありたいかを全ブロックで検討する機会は必要であると考え。

○「人材育成・確保」のテーマについては、これまでクラブを創設してきた世代がディスカッションを行っており、次世代が参加していないこともあった。そのため、次世代が自らクラブを創っていくという認識を持って参加できるスタイルにしていく方が望ましいと考える。

○ネットワークアクションのテーマだけを点として捉えることは好ましくないと考え。様々な課題をテーマとして取り上げることは有意義であるが、ネットワークアクションだからこそ取り上げるべきテーマを定める必要がある。そのため、まずネットワークアクションの在り方を明確にしたうえで、テーマを設定していく必要があると考える。

### (3) 開催形態の見直しに向けた意見聴取の結果及び今後の在り方について

事務局から、都道府県協議会に対して実施した開催形態の見直しに向けた意見聴取の結果及び今後の在り方の案について説明し、協議の結果、今後も引き続き協議することとした。令和8年度のブロック区分については、従来と変更せず9ブロックで実施することとした。

<意見>

○ブロックごとにネットワークアクションのマネジメント方法は異なっている。ブロックによっては、①開催県に関わらず主要メンバーで内容を固めるパターン、②開催県が主体となって内容を決めるパターンの2種類がある。②の場合、実行委員会では、内容の原案承認を得るだけ、または当日は実行委員が受付のみを担当することもある。そのため、開催県以外の実行委員の旅費を、会場費や講師謝金等に充てることができるようにすることが望ましいと考える。

#### **【事務局】**

ネットワークアクションの見直しについては、意見聴取においても様々な意見が出ており、直ちに答えを決めて進めていくことは困難であると認識する。そのため、令和9年度以降の見直しに向けて、検討を続けていく方向としたい。

## 議題 5. 「総合型地域スポーツクラブ登録・認証制度」認証制度について

事務局から、認証制度の改善事項に対する検討体制および検討スケジュール、認証申請条件「法人格を有していること」の整理状況および新たな SC マークの制作も含めた、SC 全国ネットワークおよび登録・認証制度の一体的なリブランディングについて説明。協議の結果、今後の方針について、原案のとおり承認された。また、障がい者スポーツ推進タイプについて、令和 8 年度の申請受付を開始したことを報告した。

<意見>

なし

### 報告 1. 令和 7 年度専門部会の取組の報告

事務局から各専門部会の取り組みの進捗状況について報告し、これを了承した。

<意見>

なし

### 報告 2. 令和 7 年度第 1 回処分審査会の報告

事務局から処分審査会について、今後の処分フローおよび規程の見直しについて検討を進めることを報告し、これを了承した。

<意見>

なし

### 報告 3. 令和 7 年度第 4 回地域スポーツクラブ育成委員会の報告

事務局から、第 4 回地域スポーツクラブ育成委員会の内容について報告し、これを了承した。

<意見>

なし

以上、16:45 に閉会した。